


簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第1回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	ファイナンス・リース取引 (決算処理①)	高・中・低	6-3	
2	売上取引 (売上原価対立法)	高・中・低	1-7	
3	手形の更改 (利息の処理①)	高・中・低	2-11	
4	源泉所得税	高・中・低	7-2	
5	本支店会計 (支店分散計算制度)	高・中・低	9-1	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第2回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	固定資産の改良と修繕	高・中・低	5-10	
2	有価証券の売却 (売買目的有価証券)	高・中・低	4-4	
3	仕入取引 (消費税)	高・中・低	1-2	
4	固定資産の減価償却 (月割償却①)	高・中・低	5-18	
5	新株発行 (増資時)	高・中・低	8-2	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第3回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	オペレーティング・リース取引 (支払時の処理)	高・中・低	6-5	
2	電子記録債権 (割引)	高・中・低	2-7	
3	売上取引 (消費税)	高・中・低	1-9	
4	税効果会計 (その他有価証券)	高・中・低	7-11	
5	本支店会計 (損益の振り替え)	高・中・低	9-3	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第4回


問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	無形固定資産 (ソフトウェアの購入)	高・中・低	5-20	
2	売上取引 (クレジット売掛金)	高・中・低	1-8	
3	固定資産の除却	高・中・低	5-11	
4	利益処分 (4分の1規定)	高・中・低	8-6	
5	法定福利費	高・中・低	7-1	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第5回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	固定資産の取得 (割賦購入)	高・中・低	5-2	
2	外貨建取引 (取引発生前に為替予約)	高・中・低	3-1	
3	売上割戻引当金	高・中・低	1-13	
4	企業合併	高・中・低	10-1	
5	固定資産の滅失 (保険金の受け取り)	高・中・低	5-15	

※上記の「WEB 解説」の番号は、重要仕訳 TOP100 の一覧ページ (<http://www.boki-navi.com/journalizing/2.html>) に記載されている問題番号に対応しています。


簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第6回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	不渡手形（支払請求）	高・中・低	2-9	
2	商品保証引当金	高・中・低	1-12	
3	固定資産の買換え	高・中・低	5-9	
4	利益処分（10分の1規定）	高・中・低	8-5	
5	税効果会計（損金不算入）	高・中・低	7-9	


簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第7回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	ファイナンス・リース取引（契約時の処理①）	高・中・低	6-1	
2	消費税（納付額の計算①）	高・中・低	7-3	
3	新株発行（設立時）	高・中・低	8-1	
4	役務収益・役務原価（収益・費用の計上①）	高・中・低	2-2	
5	固定資産の売却（間接法）	高・中・低	5-7	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第8回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	固定資産の減失（未決算の計上①）	高・中・低	5-13	
2	有価証券の購入（満期保有目的債券）	高・中・低	4-1	
3	役務収益・役務原価（収益・費用の計上②）	高・中・低	2-3	
4	株式申込証拠金（払込期日の処理）	高・中・低	8-4	
5	外貨建取引（取引発生時に為替予約）	高・中・低	3-2	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第9回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	仕入取引（売上原価対立法）	高・中・低	1-1	
2	固定資産の取得（建設仮勘定）	高・中・低	5-1	
3	課税所得の計算（損益不算入）	高・中・低	7-7	
4	利益処分（利益剰余金と資本剰余金）	高・中・低	8-8	
5	役務収益・役務原価（収益の計上）	高・中・低	2-1	

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第10回

問	論点	難度	WEB 解説	WEB 解説の QR コード
1	固定資産の減価償却（生産高比例法）	高・中・低	5-16	
2	企業買収	高・中・低	10-2	
3	外貨建取引（取引発生後に為替予約）	高・中・低	3-3	
4	有価証券の売却（売買手数料）	高・中・低	4-6	
5	固定資産の取得（圧縮記帳）	高・中・低	5-4	

※上記の「WEB 解説の QR コード」をスマホのカメラアプリ等で読み取りますと、簿記検定ナビ内の解説ページに簡単にアクセスすることができます。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第1回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	定	期	預	金						
受	取	手	形	売	掛	金	商	品	立	替	金								
受	取	商	品	仮	払	消	費	税	仮	払	法	人	税	等	前	払	利	息	
未	収	利	息	備		品	リ	ー	ス	資	産	減	価	償	却	累	計	額	
支	払	手	形	買	掛	金	所	得	税	預	り	金	リ	ー	ス	債	務		
仮	受	消	費	税	未	払	消	費	税	未	払	法	人	税	等	売		上	
受	取	手	数	料	受	取	利	息	仕		入	売	上	原	価				
発	送	費			減	価	償	却	費	租	税	公	課	支	払	リ	ー	ス	料
支	払	利	息		本		店			東	京	支	店	長	崎	支	店		

1. 当期首（4月1日）において、下記の条件でリース会社と備品のリース契約を締結した。このリース取引はファイナンス・リース取引に該当するため、利子抜き法により処理することにした（※適切に処理済み）。

リース期間：5年

リース料：年額 ¥ 100,000（毎年3月末日払い）

リース資産：見積現金購入価額 ¥ 450,000

決算日：3月31日（会計期間は1年）

当期末（3月31日）において、1回目のリース料を現金で支払うとともに、決算にあたり、備品（耐用年数：リース期間、残存価額：ゼロ、償却方法：定額法、記帳方法：間接法）の減価償却を行った。なお、リース料に含まれている利息は定額法の計算により費用として処理すること。

2. 宮部商店に商品 ¥ 400,000（原価率：75%）を販売し、代金は掛けとした。なお、発送費 ¥ 5,000（当社負担）は現金で支払った。商品売買については、商品を仕入れたときに商品勘定に記入し、販売したときにそのつど売上原価を売上原価勘定に振り替える方法で記帳している。

3. 以前に受け取っていた、得意先百田商店振り出しの約束手形 ¥ 300,000 について、百田商店より手形の更改の申し出があったため了承し、旧手形と交換という形で新手形を受け取った。なお、支払期日の延長にともなう利息 ¥ 3,000 は送金小切手で受け取った。

4. 定期預金（預入金額：¥ 1,000,000、預入期間：6か月、年利率：0.5%）を銀行に預け入れていたが、本日、この定期預金が満期になったため、源泉所得税（20%）控除後の受取利息とともに普通預金に預け替えた。

5. 遠藤ロドリゴ株式会社の長崎支店は、東京支店から「商品券 ¥ 50,000 および収入印紙 ¥ 10,000 を送付した」との報告を受けたので適切に処理した。なお、同社は支店分散計算制度を採用している。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第2回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	売	掛	金													
未	収	入	金	仮	払	消	費	税	売	買	目	的	有	価	証	券	満	期	保	有	目	的	債	券	
関	連	会	社	株	式	子	会	社	株	式	そ	の	他	有	価	証	券	建	物						
備	品	機	械	装	置	の	れ	ん	買	掛	金														
未	払	金	修	繕	引	当	金	建	物	減	価	償	却	累	計	額	備	品	減	価	償	却	累	計	額
仮	受	消	費	税	資	本	金	資	本	準	備	金	利	益	準	備	金								
売	上	有	価	証	券	利	息	有	価	証	券	売	却	益	仕	入									
広	告	宣	伝	費	減	価	償	却	費	研	究	開	発	費	株	式	交	付	費						
創	立	費	修	繕	費	支	払	利	息	有	価	証	券	売	却	損									

1. 建物の修繕工事を行い、代金 ¥ 2,000,000 を普通預金から支払ったが、工事代金の30%は建物の耐震機能を向上させる効果があるものと認められた。なお、修繕引当金の残高は ¥ 1,200,000 である。
2. ×1年12月10日に、売買目的で保有している辻村ミステリー株式会社の社債（額面総額：¥ 1,000,000、帳簿価額：¥ 980,000、年利率：7.3%、利払日：9月末日と3月末日の年2回）を売却し、端数利息を含めた金額 ¥ 985,000 が普通預金口座に振り込まれた。なお、端数利息は1年を365日として、前回の利払日の翌日から売却前日までの期間に相当する金額を日割りで計算すること。
3. 商品 ¥ 400,000 と研究開発のために使用する機械装置 ¥ 600,000 を月末払いの条件で購入した。これらに対する消費税の税率は10%であり、取引は税込方式により記帳する。
4. 備品の減価償却費は概算額（1か月あたり ¥ 3,900）をもって、4月から2月までの11か月間にわたって毎月見積り計上しているため、決算において年間確定額との差額を調整する。なお、決算整理前残高試算表の備品減価償却累計額の金額は ¥ 122,900 である。

取得原価：¥ 200,000

残存価額：ゼロ

耐用年数：5年

償却方法：200%定率法

記帳方法：間接法

決算日：3月31日（会計期間は1年）

5. 株式500株を1株あたり ¥ 10,000 で発行し、払込金の全額が当座預金口座に振り込まれた。また、株主を募集するために現金で支払った広告宣伝費 ¥ 220,000 は、当期の費用として処理することにした。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第3回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現 金	当 座 預 金	普 通 預 金	受 取 手 形
クレジット売掛金	電子記録債権	仮払消費税	売買目的有価証券
満期保有目的債券	関連会社株式	子会社株式	その他有価証券
リース資産	繰延税金資産	支払手形	電子記録債務
未払リース料	未払利息	仮受消費税	リース債務
繰延税金負債	繰越利益剰余金	売 上	有価証券評価益
仕 入	支払手数料	支払リース料	支払利息
手形売却損	電子記録債権売却損	有価証券評価損	その他有価証券評価差額金
法人税等調整額	本 店	支 店	損 益

1. ×1年4月1日、以下の条件でリース会社と備品のリース契約を締結した。なお、このリース取引はオペレーティング・リース取引である。

- リース期間：5年
- リース料：年額 ¥ 120,000（支払日は毎年3月末日、後払い）
- リース資産：見積現金購入価額 ¥ 540,000
- 耐用年数：6年
- 決算日：3月31日（会計期間は1年）

×2年3月31日において、1回目のリース料を小切手を振り出して支払った。

2. 所有する電子記録債権のうち ¥ 600,000 を割り引き、割引料（3.5%相当額）が差し引かれた残額を普通預金とした。
3. 商品 ¥ 330,000（消費税込み）を販売し、このうち ¥ 110,000（消費税込み）は以前に当社が振り出した約束手形を受け取り、残額はクレジット払いとした。また、信販会社へのクレジット手数料（クレジットによる販売代金の4%）もあわせて計上した。なお、消費税の税率は10%とし、税抜方式で処理するが、クレジット手数料に消費税は課税されない。
4. 決算にあたり、長期投資目的で取得していた森見ファンタジー株式会社の株式 1,000 株（取得時の時価：1株あたり ¥ 400）を時価評価（決算時の時価：1株あたり ¥ 350）し、全部純資産直入法を適用した。なお、法人税等の実効税率は40%とし、時価評価にあたっては税効果会計を適用すること。
5. 決算において、本店は支店から「当期純利益 ¥ 720,000 を計上した」との報告を受けた。本店側の仕訳を答えなさい。なお、当社は支店独立会計制度を採用している。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第4回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金預金	クレジット売掛金	未収入金	従業員貸付金
立替金	貯蔵品	備品	備品減価償却累計額
ソフトウェア	ソフトウェア仮勘定	買掛金	前受金
未払金	仮受金	社会保険料預り金	修繕引当金
未払配当金	資本金	資本準備金	利益準備金
修繕積立金	繰越利益剰余金	売上	固定資産売却益
仕入	給料	法定福利費	支払手数料
減価償却費	保険料	租税公課	保守費
ソフトウェア償却	固定資産売却損	固定資産除却損	ソフトウェア除却損

1. 外部に開発を依頼していた社内利用目的のソフトウェア（開発費用 ¥ 3,000,000 はすでに支払済み）が完成し、本日から使用を開始したためソフトウェア勘定に振り替えた。また、開発費用の中に使用開始後にかかるシステム関係の保守費用 ¥ 500,000 が含まれていることが判明したため、適切に処理することにした。
2. 池井戸商店に商品 ¥ 300,000 をクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社への手数料は販売代金の5%で、販売時に計上している。
3. ×2年12月16日に購入したコピー機（取得原価：¥ 360,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：6年、償却方法：定額法、記帳方法：間接法）を×6年12月15日に除却した。このコピー機は直ちに倉庫に移管し、その処分価額を ¥ 80,000 と見積もった。なお、当社の決算は3月31日（年1回）であり、減価償却は月割計算で行っている。
4. ×1年6月29日に行われた森オールエフ株式会社（決算日：3月31日・年1回）の株主総会で、繰越利益剰余金 ¥ 3,000,000 を以下のとおりに処分することが承認された。

株主配当金：1株につき ¥ 800

利益準備金：会社法の定める金額

修繕積立金：¥ 1,000,000

なお、株主総会時点の同社の資本金は ¥ 10,000,000、資本準備金は ¥ 1,600,000、利益準備金は ¥ 800,000 であり、発行済株式数は2,000株である。

5. 給料を支払うさいに控除していた社会保険料 ¥ 560,000 と、同額の会社負担分をあわせて現金で納付した。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第5回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

未 決 算	売 上	建物減価償却累計額	資 本 金
その他有価証券	営業外受取手形	受 取 利 息	仕 入 割 戻
負ののれん発生益	返品調整引当金	未 払 金	当 座 預 金
普通預金	保 険 差 益	の れ ん	売上割戻引当金
未 収 入 金	資 本 準 備 金	車 両 運 搬 具	長 期 前 払 費 用
売 上 割 引	為 替 差 損 益	現 金	仕 入
支 払 利 息	建 物	保 険 料	利 益 準 備 金
繰越利益剰余金	買 掛 金	売 掛 金	仕 入 割 引
前 払 費 用	減 価 償 却 費	火 災 損 失	営 業 外 支 払 手 形

1. 営業用車両（現金販売価額：¥ 1,980,000）を割賦契約で購入した。代金は毎月 20 日に支払期限の到来する額面 ¥ 400,000 の約束手形 5 枚を振り出して支払った。なお、利息分は購入時に費用として処理することにした。
2. 欧州の取引先から、商品 1,000 ユーロの代金を 1 か月後に支払う条件で輸入した。輸入時の直物為替相場は 1 ユーロ ¥ 120 であったが、輸入に先立って 10,000 ユーロを 1 か月後に 1 ユーロ ¥ 125 で購入する為替予約を結んでいたため、この為替予約により振当処理を行うことにした。
3. 当社の直近 3 か月の売上状況を精査した結果、一定額以上の商品を購入した江國商店が ¥ 200,000 の売上割戻を実施する要件を満たしていることが判明したため、同店に対する売掛金を減額した。なお、前期末の決算において売上割戻引当金 ¥ 180,000 を計上している。
4. 当期首において灰谷ラビット株式会社を吸収合併し、新たに当社の株式 300 株（時価：@ ¥ 20,000）を同社の株主に交付した。同社から承継した資産および負債は、以下のとおりである。なお、株式の交付にともなって増加する株主資本は、70%を資本金、残りを資本準備金として計上することにした。

現 金（帳簿価額：¥ 2,100,000 時価：¥ 2,100,000）
売掛金（帳簿価額：¥ 2,800,000 時価：¥ 2,800,000）
商 品（帳簿価額：¥ 1,500,000 時価：¥ 1,600,000）
買掛金（帳簿価額：¥ 1,000,000 時価：¥ 1,000,000）

5. 火災により焼失した建物（取得原価：¥ 12,000,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：40 年、償却方法：定額法、記帳方法：直接法）に関し請求していた保険金について、本日、保険会社から ¥ 4,500,000 を支払う旨の連絡を受けた。

この建物は、×02 年 4 月 1 日に取得したもので、×27 年 9 月 30 日に火災があり、火災発生日の簿価の全額を未決算勘定に振り替えていた。なお、当社の決算は 3 月 31 日（年 1 回）であり、減価償却は月割計算で行っている。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第6回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	普通預金	受取手形
営業外受取手形	不渡手形	未収入金	貯蔵品
備品	備品減価償却累計額	繰延税金資産	支払手形
営業外支払手形	未払金	未払配当金	未払法人税等
修繕引当金	商品保証引当金	繰延税金負債	資本金
資本準備金	利益準備金	修繕積立金	新築積立金
繰越利益剰余金	固定資産売却益	消耗品費	支払手数料
減価償却費	商品保証費	修繕費	支払利息
固定資産売却損	固定資産除却損	法人税等	法人税等調整額

1. 不要となった機械装置を重松商店に売却しなさい、代金として同店振り出しの約束手形 ¥ 550,000 を受け取っていたが、この手形が満期日を迎えても決済されていないことが判明したため、重松商店に対して支払請求を行った。なお、支払請求に要した費用 ¥ 10,000 は現金で支払った。

2. 前期に販売した商品に対して修理の申し出があったので、修理業者に修理を依頼し、修理代金 ¥ 66,000 を現金で支払った。なお、前期の決算において売上高 ¥ 10,000,000 の0.5%を商品保証引当金に計上している。

3. 当期首(×3年4月1日)において、×1年10月1日に購入したデスクトップ型パソコン(取得原価 ¥ 320,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：4年、償却方法：200%定率法、記帳方法：間接法)を、新しいノートブック型パソコンに買い換えた。

ノートブック型パソコンの取得原価は ¥ 400,000、デスクトップ型パソコンの下取価額は ¥ 100,000 で、下取価額を差し引いた代金は翌月末に支払うことにした。なお、当社の決算日は3月末日(会計期間は1年)であり、デスクトップ型パソコンを購入した年度の減価償却費は月割りで計算すること。

4. ×1年6月28日に行われた浅田スモーク株式会社(決算日：3月31日・年1回)の株主総会で、繰越利益剰余金 ¥ 5,500,000 を以下のとおりに処分することが承認された。

- 株主配当金：1株につき ¥ 1,000
- 利益準備金：会社法の定める金額
- 新築積立金：¥ 2,000,000

なお、株主総会時点の同社の資本金は ¥ 10,000,000、資本準備金は ¥ 1,400,000、利益準備金は ¥ 700,000 であり、発行済株式数は3,000株である。

5. 決算において、備品の減価償却費 ¥ 360,000 を計上したが、そのうちの ¥ 40,000 は税法上、損金に算入することが認められなかったため、税効果会計の処理を行う。なお、法人税等の実効税率は40%とする。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第7回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現	金	当 座 預 金	普 通 預 金	未 収 入 金
仮 払 消 費 税		未 収 還 付 消 費 税	仕 掛 品	貯 蔵 品
リ ー ス 資 産		車 両	車 両 減 価 償 却 累 計 額	の れ ん
仮 受 消 費 税		未 払 消 費 税	リ ー ス 債 務	資 本 金
資 本 準 備 金		利 益 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金	売 上
役 務 収 益		固 定 資 産 売 却 益	仕 入	役 務 原 価
給 料		広 告 宣 伝 費	減 価 償 却 費	支 払 リ ー ス 料
租 税 公 課		法 定 福 利 費	株 式 交 付 費	創 立 費
開 業 費		支 払 利 息	固 定 資 産 売 却 損	固 定 資 産 除 却 損

1. 当期首において、下記の条件でリース会社と備品のリース契約を締結した。このリース取引はファイナンス・リース取引に該当するため、利子抜き法により処理することにした。

リース期間：5年

リース料：年額 ¥ 200,000（毎年3月末日払い）

リース資産：見積現金購入価額 ¥ 900,000

2. 決算において納付すべき消費税の額を算定した。なお、本年度の消費税の仮払分は ¥ 540,000、仮受分は ¥ 720,000 であり、消費税の記帳は税込方式により行っている。

3. 会社の設立にあたり、発行可能株式総数 500 株のうち 300 株を 1 株あたり ¥ 10,000 で発行し、払込金の全額が普通預金口座に振り込まれた。なお、資本金に計上する額は、会社法が規定する最低限度額とする。また、現金で支払った株式の発行にかかる費用 ¥ 100,000 および設立登記にかかる費用 ¥ 250,000 は、当期の費用として処理することにした。

4. 不動産仲介業を営む村上ノーベル株式会社は、顧客から依頼があった案件にかかる給料 ¥ 300,000 および広告宣伝費 ¥ 110,000 を仕掛品として処理していた（※適切に処理済み）。

本日、上記案件にかかるサービスの提供が完了し、対価として顧客が振り出した小切手 ¥ 550,000 を受け取ったため、収益およびこれに対応する費用を計上する。

5. ×1年12月10日に購入した社用車（取得原価 ¥ 3,000,000、残存価額：ゼロ、償却方法：生産高比例法、記帳方法：間接法、総走行可能距離：12万キロ、売却時点の実際走行距離：9万キロ、当期の実際走行距離：2万キロ）を、×4年12月9日に ¥ 1,000,000 で売却し、代金は相手方振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。なお、当社の決算日は3月末日（会計期間は1年）である。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第8回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	別	段	預	金
売	掛	金	仕	掛	品	貯	蔵	品		前	払	金	
未	収	入	金	仮	払	金	売	買	目的	有	価	証	券
そ	の	他	有	価	証	券	建	物	建	物	減	価	償
前	受	金	未	払	金	仮	受	金	株	式	申	込	証
資	本	金	株	式	払	込	剰	余	金	利	益	準	備
売		上	役	務	収	益	有	価	証	券	利	息	保
仕		入	役	務	原	価	支	払	手	数	料	減	価
支	払	利	息	火	災	損	失	火	災	未	決	算	為
													替
													差
													損
													益

1. 綾辻商店は、火災により店舗（取得原価：¥ 6,000,000、焼失時の減価償却累計額：¥ 3,000,000、記帳方法：間接法）および店舗にて保管していた商品（購入代価：¥ 1,400,000、付随費用：¥ 100,000、売価：¥ 2,000,000、記帳方法：三分法）を焼失したが、これらの資産については保険金額 ¥ 5,000,000 の火災保険に加入していたので、ただちに保険会社に保険金の支払いを請求した。
2. ×1年6月19日に、満期日まで保有する目的で司馬ヒストリー株式会社の社債（額面総額：¥ 3,000,000、年利：3.65%、利払日：9月末日と3月末日の年2回）を額面 ¥ 100につき ¥ 97.5 で買い入れ、代金は証券会社への手数料 ¥ 11,000 および端数利息とともに小切手を振り出して支払った。なお、端数利息は1年を365日として、前回の利払日の翌日から売買日までの期間に相当する金額を日割りで計算すること。
3. 旅行業を営む沢木トラベル株式会社は、1泊3日のSFC修行弾丸ツアーを企画したところ、顧客20名からの申し込みがあり、ツアー代金の合計 ¥ 2,000,000 を現金で受け取っていた（※適切に処理済み）。
本日、予定どおり弾丸ツアーを催行し、添乗員への報酬や宿泊代、交通費などの諸経費 ¥ 1,600,000 を現金で支払った。
4. 新たに200株（1株あたりの払込金額は ¥ 30,000）を発行して増資を行うことになり、申込期日までにその全額が申込証拠金として別段預金に払い込まれていたが、本日、申込期日が到来したので、その払込額を資本金に振り替え、かつ、別段預金を普通預金へ振り替えた。なお、当社では申込証拠金を資本金に充当するさいには、会社法が規定する最低額を組み入れることにしている。
5. 先日、中国の取引先から、商品10,000元の代金を2か月後に支払う条件で輸入した。輸入時の直物為替相場は1元 ¥ 15であったが、輸入と同時に10,000元を2か月後に1元 ¥ 16で購入する為替予約を結んだため、この為替予約により振当処理を行った（※以上、すべて適切に処理済み）。
輸入から2か月後にあたる本日、買掛金10,000元を普通預金から支払った。なお、決済時の直物為替相場は1元 ¥ 17である。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第9回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	普通預金	売掛金
未収入金	商品	仕掛品	仮払法人税等
建物	建物減価償却累計額	構築物	建設仮勘定
買掛金	前受金	預り金	修繕引当金
未払配当金	未払法人税等	資本金	資本準備金
その他資本剰余金	利益準備金	繰越利益剰余金	修繕積立金
売上	役員収益	受取配当金	還付法人税等
仕入	売上原価	役員原価	支払運賃
修繕費	法人税等	追徴法人税等	法人税等調整額

1. 東野商店から商品 ¥ 300,000 を仕入れ、代金は掛けとした。なお、商品の引取運賃 ¥ 2,000 は現金で支払った。商品売買については、商品を仕入れたときに商品勘定に記入し、販売したときにそのつど売上原価を売上原価勘定に振り替える方法で記帳している。

2. 事務所の増設工事（工事代金 ¥ 10,000,000 は工事完成前に全額支払い済み）が完成したため、工事の明細（建物：¥ 8,000,000、構築物：¥ 1,500,000、修繕費：¥ 500,000）に従って勘定科目の振り替えを行う。なお、修繕引当金の残高は ¥ 600,000 である。

3. 決算において、税引前当期純利益 ¥ 1,000,000 を計上したが、貸倒引当金繰入の損金不算入額 ¥ 10,000 および減価償却費の損金不算入額 ¥ 90,000 があることが判明した。当期の法人税等の法定実効税率を 40% として、未払法人税等を計上する。なお、中間申告のさいに計上した仮払法人税等の残高は ¥ 250,000 である。

4. 定時株主総会において、剰余金の配当が以下のとおり承認された。

- ・その他資本剰余金 ¥ 400,000 および繰越利益剰余金 ¥ 1,200,000 を財源として配当を行う。
- ・上記の配当に関連して、会社法が定める金額を準備金として積み立てる。

なお、株主総会時点の同社の資本金は ¥ 10,000,000、資本準備金は ¥ 1,800,000、利益準備金は ¥ 600,000 であった。

5. 資格教育サービスを運営する瀬尾アカデミー株式会社は、新たに簿記検定対策講座を開講し、生徒から受講料 ¥ 360,000 を受け取った（※適切に処理済み）。

決算において、簿記検定対策講座にかかる当期の収益を計上する。なお、決算日時点で全 24 講義のうち 8 講義が完了している。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第10回 問題

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

のれん	為替差損益	資本金	有価証券利息
有価証券評価損	満期保有目的債券	国庫補助金受贈益	普通預金
車両減価償却累計額	前受金	買掛金	有価証券売却益
当座預金	有価証券売却損	関連会社株式	減価償却費
資本準備金	未収入金	その他有価証券	負ののれん発生益
子会社株式	備品	売上	長期借入金
貸付金	未払金	現金	繰越利益剰余金
固定資産圧縮損	売掛金	仮受金	売買目的有価証券
支払手数料	車両	有価証券評価益	商品

1. 決算において、保有している営業用車両（購入代価 ¥ 3,000,000、付随費用 ¥ 300,000、残存価額：ゼロ、総走行可能距離：100,000km、前期末までの走行距離：44,000km、当期末までの走行距離：56,000km、償却方法：生産高比例法、記帳方法：直接法）の減価償却を行った。
2. 当期首において、桜庭商会を現金 ¥ 1,200,000 で買収した。買収時の桜庭商会の資産および負債は、売掛金 ¥ 900,000、商品 ¥ 800,000、借入金 ¥ 400,000 であった。
3. 先日、米国の得意先に対して商品 1,000 ドルを掛けで販売し、同日の直物為替相場で記帳処理していたが、本日、同得意先に対する売掛金 1,000 ドルについて、先物為替相場で為替予約を付した。なお、為替予約の処理にあたっては振当処理を適用し、販売時の為替相場による円換算額と、為替予約による円換算額との差額はすべて当期の損益として処理すること。

販売時の直物為替相場：1ドル ¥ 112
 販売時の先物為替相場：1ドル ¥ 114
 為替予約時の直物為替相場：1ドル ¥ 113
 為替予約時の先物為替相場：1ドル ¥ 115
4. 前期中に @¥ 1,200 で購入し、前期末決算で @¥ 1,000 に評価替え（切放方式を適用）していた売買目的有価証券 2,000 株を @¥ 1,100 で売却し、売買手数料 ¥ 11,000 が差し引かれた残額が当座預金口座に振り込まれた。なお、売買手数料は有価証券売却益または売却損に加減して処理すること。
5. 備品 ¥ 500,000 の取得に先立って、国庫補助金 ¥ 200,000 を受け取っていたが、誤って前受金の増加として処理していたことが判明した。本日、この誤りを修正するとともに、当該補助金を返還しないことが確定したため、直接控除方式により圧縮記帳の処理を行った。

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第1回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	支払利息	10,000	現金	100,000
	リース債務	90,000		
	減価償却費	90,000	減価償却累計額	90,000
2	売掛金	400,000	売上	400,000
	売上原価	300,000	商品	300,000
	発送費	5,000	現金	5,000
3	受取手形	300,000	受取手形	300,000
	現金	3,000	受取利息	3,000
4	普通預金	1,002,000	定期預金	1,000,000
	仮払法人税等	500	受取利息	2,500
5	受取商品券	50,000	東京支店	60,000
	租税公課	10,000		

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第2回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	建物	600,000	普通預金	2,000,000
	修繕引当金	1,200,000		
	修繕費	200,000		
2	普通預金	985,000	売買目的有価証券	980,000
	有価証券売却損	9,000	有価証券利息	14,000
3	仕入	440,000	買掛金	440,000
	研究開発費	660,000	未払金	660,000
4	減価償却費	5,100	備品減価償却累計額	5,100
5	当座預金	5,000,000	資本金	5,000,000
	株式交付費	220,000	現金	220,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第3回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	支払リース料	120,000	当座預金	120,000
2	普通預金	579,000	電子記録債権	600,000
	電子記録債権売却損	21,000		
3	支払手形	110,000	売上	300,000
	支払手数料	8,000	仮受消費税	30,000
	クレジット売掛金	212,000		
4	その他有価証券評価差額金	30,000	その他有価証券	50,000
	繰延税金資産	20,000		
5	支店	720,000	損益	720,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・A ランク 第4回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	ソフトウェア	2,500,000	ソフトウェア仮勘定	3,000,000
	保守費	500,000		
2	クレジット売掛金	285,000	売上	300,000
	支払手数料	15,000		
3	減価償却費	45,000	備品	360,000
	備品減価償却累計額	200,000		
	貯蔵品	80,000		
	固定資産除却損	35,000		

4	繰越利益剰余金	2,700,000	未払配当金 利益準備金 修繕積立金	1,600,000 100,000 1,000,000
5	社会保険料預り金 法定福利費	560,000 560,000	現金預金	1,120,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第5回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	車両運搬具 支払利息	1,980,000 20,000	営業外支払手形	2,000,000
2	仕入	125,000	買掛金	125,000
3	売上割戻引当金 売上	180,000 20,000	売掛金	200,000
4	現金 売掛金 仕入 のれん	2,100,000 2,800,000 1,600,000 500,000	買掛金 資本金 資本準備金	1,000,000 4,200,000 1,800,000
5	未収入金	4,500,000	未決算 保険差益	4,350,000 150,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第6回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	不渡手形	560,000	営業外受取手形 現金	550,000 10,000
2	商品保証引当金 商品保証費	50,000 16,000	現金	66,000
3	備品 備品減価償却累計額 固定資産売却損	400,000 200,000 20,000	備品 未払金	320,000 300,000
4	繰越利益剰余金	5,300,000	未払配当金 利益準備金 新築積立金	3,000,000 300,000 2,000,000
5	繰延税金資産	16,000	法人税等調整額	16,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第7回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	リース資産	900,000	リース債務	900,000
2	租税公課	180,000	未払消費税	180,000
3	普通預金 創立費	3,000,000 350,000	資本金 資本準備金 現金	1,500,000 1,500,000 350,000
4	現金 役員原価	550,000 410,000	役員収益 仕掛品	550,000 410,000
5	減価償却費 車両減価償却累計額 当座預金	500,000 1,750,000 1,000,000	車両 固定資産売却益	3,000,000 250,000
別解	減価償却費 車両減価償却累計額 当座預金	500,000 2,250,000 1,000,000	車両減価償却累計額 車両 固定資産売却益	500,000 3,000,000 250,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第8回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	建物減価償却累計額	3,000,000	建物	6,000,000
	火災未決算	4,500,000	仕入	1,500,000
2	満期保有目的債券	2,936,000	当座預金	2,960,000
	有価証券利息	24,000		
3	前受金	2,000,000	役員収益	2,000,000
	役員原価	1,600,000	現金	1,600,000
4	株式申込証拠金	6,000,000	資本金	3,000,000
			株式払込剰余金	3,000,000
	普通預金	6,000,000	別段預金	6,000,000
5	買掛金	160,000	普通預金	160,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第9回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	商品	302,000	買掛金	300,000
			現金	2,000
2	建物	8,000,000	建設仮勘定	10,000,000
	構築物	1,500,000		
	修繕引当金	500,000		
3	法人税等	440,000	仮払法人税等	250,000
			未払法人税等	190,000
4	その他資本剰余金	425,000	未払配当金	1,600,000
	繰越利益剰余金	1,275,000	資本準備金	25,000
			利益準備金	75,000
5	前受金	120,000	役員収益	120,000

簿記2級 重要仕訳 TOP100・Aランク 第10回 解答

問	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却費	396,000	車両	396,000
2	売掛金	900,000	長期借入金	400,000
			現金	1,200,000
			負ののれん発生益	100,000
3	売掛金	3,000	為替差損益	3,000
4	当座預金	2,189,000	売買目的有価証券	2,000,000
			有価証券売却益	189,000
5	前受金	200,000	国庫補助金受贈益	200,000
	固定資産圧縮損	200,000	備品	200,000